

令和4(2022)年度 保健師職能・看護師職能 I・II 合同研修会 アンケート結果

「～それぞれの立場から患者に寄り添うACPを考える～」

西 智弘 氏(川崎市立井田病院 腫瘍内科 部長)

1 アンケート回収率

受講者	169
アンケート回収	128
アンケート回収率	75.7%

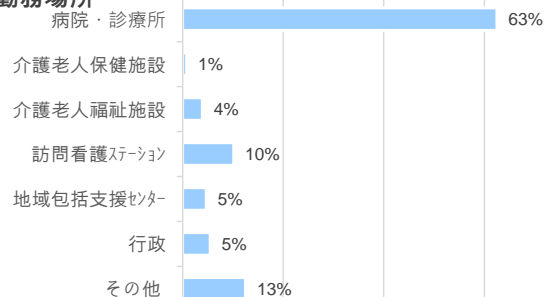
2 勤務場所

n= 128

病院・診療所	80
介護老人保健施設	1
介護老人福祉施設	5
訪問看護ステーション	13
地域包括支援センター	6
行政	7
その他 *1	16

*1 企業、保護施設、教育機関、コールセンター、在宅医療介護連携相談室、有料老人ホーム、地域密着型通所介護施設、学生、未就業、重症心身障害児・者医療施設

勤務場所

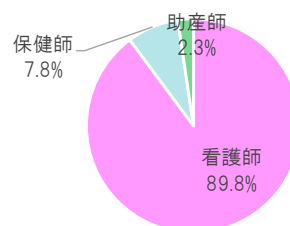


3 職種

n= 128

看護師	115
保健師	10
助産師	3
准看護師	0

職種

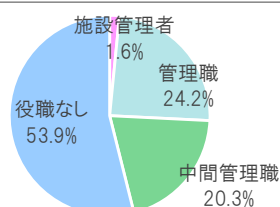


4 役職

n= 128

施設管理者	2
管理職	31
中間管理職	26
役職なし	69

役職

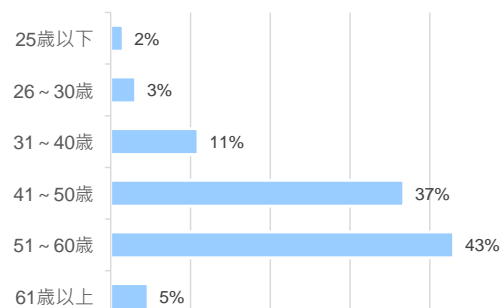


5 年齢

n= 128

25歳以下	2
26～30歳	4
31～40歳	14
41～50歳	47
51～60歳	55
61歳以上	6

年齢

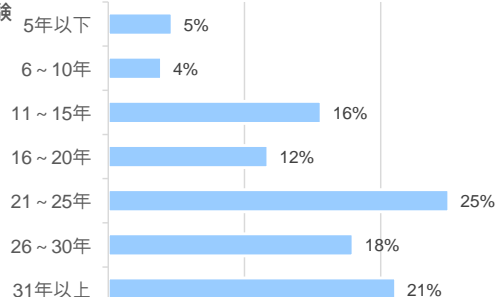


6 業務経験

n= 128

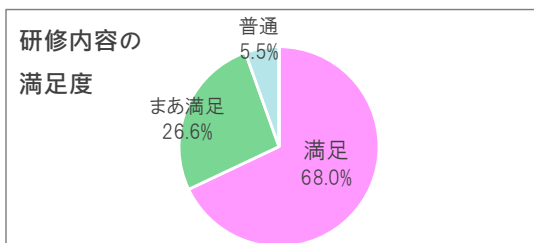
5年以下	6
6～10年	5
11～15年	20
16～20年	15
21～25年	32
26～30年	23
31年以上	27

業務経験



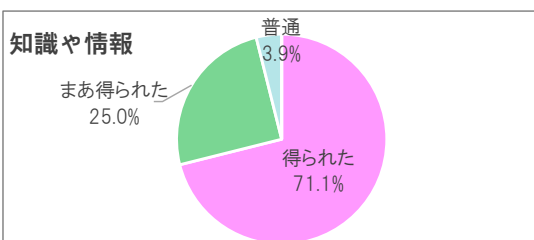
7 満足度 n= 128

満足	87
まあ満足	34
普通	7
やや不満足	0
不満足	0



8 新たな知識や情報 n= 128

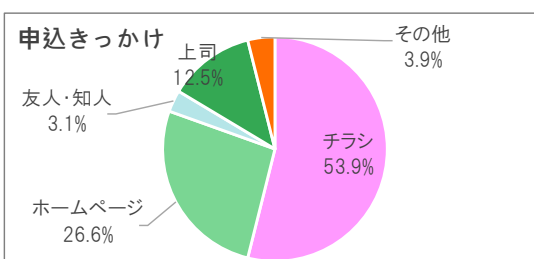
得られた	91
まあ得られた	32
普通	5
あまり得られない	0
得られない	0



9 研修会を知ったきっかけ n= 128

チラシ	69
ホームページ	34
友人・知人	4
上司	16
その他 *1	5

*1 病院内、研修申込サイト一覧、職能委員会



10 感想・学びのご意見

・ACPの知識とトレーニングはやはり必要だと強く感じました。病院の中で患者と関わることしかしてこなかったので、地域におけるACPについて興味深く受講することができました。ありがとうございました。音声の途切れが気になりました。
・家族仲が悪く、話がまとまらない日々も、話を聞き対話が大切であると再認識できました。
・社会的な死を先に伸ばしていける支援が出来るように現場の問題をしっかりと捉えて解決していきたいです。
・西先生のような医師が身近に増えてくれることを期待します。緩和ケアの医師以外についてはACPに積極的な医師もまだ少ないように感じています。
・以前より楽しみにしていた講演会です。普段は急性期病棟のため、ACPについて考える機会がなく、現場で率先している先生の講演は新たな知見となりました。
・大変勉強になりました。ありがとうございました。
・先生のように、他の先生方も患者様その家族との会話を大事にしていただけると良いのですが。
・在宅の関わりの中でもなかなか切り出しにくい所があります。そのタイミングに間違いがなかったと確認できました。
・いつものタイミングでACPについて患者さんと話せばいいのが難しくこの研修へ参加させて頂きました。無理やりACPについて聞かなくていいのではなく、患者とのラポールを形成した上で、会話の中で深めていく必要があるのだと学ぶことが出来ました。死について触れにくい話題ではありますが、話しておくべきことであるので今回のことを生かして行きたいと思えます。
・3年ぶり(コロナ前)のACP研修とコロナ禍以降に関わりにくくなることもあり、改めてACPと終末期ケアの大切さを思い出しました。社会的な死を早期に招かないような関わりも模索しながら関わられたらと思いました。また、Tiggerd Palliative Careなど世界的な見解などは新たな知識で勉強になりました。ありがとうございました。
・がん患者だけでなく、腎臓や心臓などの慢性疾患患者へのACPのタイミングが難しいと思っていました。ACPIは会話なので、日ごろの関わりが重要だと思いました。また、社会的な役割の大切さを痛感しました
・意思決定について話し合う機会が多かったので、今回のお話を活かしていきたいと思えます。
・医師サイドの理解が広まっていない印象を受けています。あと、死は忌み嫌うもの という意識がまだまだ強い印象を受けています。もっとフラットに話ができる環境が広がることを願います。
・経験をもとにしてわかりやすかったです。APCIには継続看護や地域との連携などが大切なのだとわかりました。業務に追われ、時間がないため、ICの時にしかAPCIについて話せないことがあります。日頃から関わる中で患者でAPCを語れる場所が必要だと思いました。
・世の中の流れとしてタイムパフォーマンスという言葉が出てきたり効率が強く求められていますが、やはり最後は個性性を考えた関わり、会話によるやり取りの継続が大切なんだと思いました。
・私は重症心身障害児施設で看護師をしています。意思決定や意思表出が困難な方が多い中でのACPでは難しい場面に突き当たる事も多々あります。しかし今回の研修で①苦しみの構造を知ること②コミュニケーションスキル③人生の質を考えるという基礎的なものを学ぶ事が出来ました。今後の現場で活かせる様に深く考えていきたいと思えます。

<p>・ACPIについての知識を深めることができました。大切な家族、患者におせつかいで自然とする会話を意識しながら、会話を大切に共有していきたいと思いました。</p>
<p>・社会的な死をなるべく後ろの方にすることと早期の緩和ケアの必要性を感じました。ACPIにいつまでも苦手意識を持ってしまいますが、看護師の役割やタイミングをたくさんご講義いただいたので、きっかけがつけられた気がします。</p>
<p>・早期からの対話が大事なのだと思った。またACPを地域で考えるという視野が広がりました。</p>
<p>・具体的な事例やお考えを交えてのご講演であり、自分がどう考えるか、どう行えばよいかを考えることにつながったと思う。webで参加したが、時々参加者の音声が入って気になった。</p>
<p>・研修ありがとうございました。ACPIの開始のタイミング、患者さんとの日々の会話の重要性が理解できました。</p>
<p>・現場の具体的な対応など学ぶことができました。</p>
<p>・社会的処方という言葉を知りました。ひろめていきたいです</p>
<p>・日常からの価値観の抽出はセレクションに注意ということはいよいよ学びになりました コミュニケーションをしっかりとしていきたいと思えます</p>
<p>・ACPIについて深く考えていたが、会話と知り、普段の日常会話から少しずつ取り上げていこうと思いました。</p>
<p>・日頃より難病患者の方の支援をしていて、意思決定支援などで悩むことも多いため参考になりました。</p>
<p>・会話を自分で行えているか。考える機会となった</p>
<p>・ACPIについて学ぶ機会をいままで得ることができなかつたので、今回の研修は有意義でした。</p>
<p>・患者さんの一つ一つの言葉を大事にしたいと思いました</p>
<p>・大変勉強になりました。ACPIに関わる人が多い部署ですので活用していきたいです。</p>
<p>・ACPIについて、患者自身が置き去りにされている感覚は否めません。本日の講義を聞いて、まずは話をする機会を作ろうと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>・ACPIについてはとても興味あったので良かったです。</p>
<p>・孤立への処方箋「社会的処方」読んでみたいと思えます</p>
<p>・ACPIの具体的な進め方、コミュニケーションの例など聞きたかったです。西先生のお話は興味深く聴けました</p>
<p>・がんだけでなく終末期を迎える患者への、看護師ができるケアについて改めて感がさせられました。ありがとうございました。</p>
<p>・臨床でこうであったらいいと感じていたことを、講師の西先生が実践され推奨されている話を聞き、今後も患者と語りあうことに手を抜かず関わっていききたいと思いました。</p>
<p>・具体例がわかりやすかったです</p>
<p>・日々の会話を大切にしていこうと思いました。社会的しをできるだけ後ろ倒しに。やれることを柔軟な視点を持って探していこうと思いました。</p>
<p>・緩和ケア・ACPIに関して視野や物事の捉え方、考え方が広がった気がします。</p>
<p>・末期ガン以外、神経難病の方に沿っての話も聞きたかったです</p>
<p>・ACPIの普及を勧めたいと思います。</p>
<p>・貴重な講義をありがとうございました。本人が苦痛を自覚していなくても、実は苦痛を言語化できていないだけ言うケースに対する関わり方や関わることの意義について、とても印象に残りました。</p>
<p>・ACPIについて症例や、質疑応答を通じてより理解することができました。</p>
<p>・日々患者さんとの関わりが多い看護師だからこそ、患者さんとの会話を大切にしていきたいと改めて感じました。</p>
<p>・講師の先生のお話とても良かったです。ACP会話からはじめてみます</p>
<p>・ACPIについて持ち帰って話し合いたいと思えます。</p>
<p>・色々考えさせられました。街の居場所に参加してみたいですね。</p>
<p>・地域での支援が大切であることがわかりました</p>
<p>・ACPIは会話である。大変印象的でした。患者さんの言葉から人生や価値観を拾い上げることのできる感性を磨かなければと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>・ACPを病院だけでなく地域でやっていくというのが、とても興味深かったです。これからは地域でのサポート力が大切になる時代なのですね。</p>
<p>・外来でもっと関われる、場所を提供していきたいなと感じました。また、看護師って大変だなとつくづく感じました。</p>
<p>・化学療法室で勤務しております。日々、癌患者さんと関わるなかで、今後のことについてどう話しをしていけばいいのか、どんな事が私に出来るか考えているところです。本日の講義で得た貴重な知識を、明日からの臨床で活かしていきたいと思えます。</p>
<p>・自らの意思を表現できない状態で入所される方がほとんどの職場です。本日の講義でACPを通して、対象者への寄り添いかたを学ぶことができました。</p>
<p>・初めてのACP研修会だったので、大変参考になった</p>
<p>・データに基づき、社会が求めるacpとは？を学び直し出来ました。ともすれば、AD作成に近いモノになりそうな当院なので、今回の研修結果の伝達を医師含め行いたいと思いました。本日は、貴重なお話ありがとうございました。</p>
<p>・介護職の方からどのようにACPをすすめていくかわからないと聞かれます。今回の研修でその糸口が少し見えてきましたので伝達講習していきたいと思いました。</p>
<p>・緩和医療を推進する立場の先生として、安楽死をさせない取り組みが、良かったです。</p>

<p>・血液透析を専門に行うクリニック勤務です。透析患者さんの高齢化が進み、この先の治療をどのように行うか検討を行う必要がある患者さんも増えてきています。「ACPは自然と行いたくなる会話」この言葉を忘れずに、一人一人のヒストリーに耳を傾け、その人の人生の伴奏者になっていく必要性を感じました。本日は、貴重な講演ありがとうございました。</p>
<p>・看護学校に勤務しています。担当授業で「ACP」や「暮らしの保健室」について説明しているので、今日の講義内容が現場の状況を把握する上でとても参考になりました。長丁場の講義でしたが流れが良く、事例を交えて頂きとても分かりやすかったです。地域・在宅医療の役割が大きいと感じました。</p>
<p>・研修に参加させて頂きありがとうございました。ACPの重要性を認識しながら、日々のケアに充てる時間配分や忙しさに負けている状態です。穏やかな気持ちで、勤務出来る様にと願います。</p>
<p>・医療においての地域が重要になっている、これから益々重要になるだろうことを考えると、西先生のような活動を日常にできるような取り組みが必要なのだろうと日頃から思っていました。実現に向けたためのつながりや人材育成が大事なことがわかりました。まずは今いる場において語れる、語りを聴ける人材育成を続けたいと思っています。</p>
<p>・老人看護専門看護師を目指して現在大学院在学中です。本日西先生がおっしゃっていた、3種類の死について、がん患者様の緩和だけでなく、認知症の方にもとてもよくあてはまる気がいたしました。社会の見方を変え、認知症になる前から早めのACPと、認知症の方も生きやすい社会を作っていく、社会的な死を先延ばしする努力をしていくことを目標にしていきたいと思います。</p>
<p>・今後訪問看護に従事する予定なので、患者、利用者とのコミュニケーションを大切に、その方がより良く生活ができるように支援していきたいと思えます。</p>
<p>・大変、有意義でした。別の機会に、社会的処方を中心にお話を伺う機会があると、さらに視点が広がりそうです。</p>
<p>・人は役割の喪失が社会的死を招き意思決定が困難な障害者に対して今まで経過や家族に代弁者となってもらっていますが、確かなものがなくACPをする上で常に不安があります。積み重ねだと思おうので手探りながら、ACPを取り入れられるケアにしていきたいです。</p>
<p>・acplは対話が大切であることを再認識できた。</p>
<p>・患者さんの思いを引き出すには日々の会話がとてもキーになってくることを学びました。その方の心の支えになっているものを引き出せるように実践に活かしていきたい。</p>
<p>・まだまだ、家族に治療方針や今後のことを説明している医師が多く、ACPを取り入れることは難儀だなあと思うところです。</p>
<p>・講師の先生の体験談など分かりやすい表現でしたので、理解できました。明日からの業務につなげていきたいと思えます。</p>
<p>・ACPを『会話』と考えることで、より身近にご利用者の思いを受け取りやすくなると感じました。</p>
<p>・すごく分かりやすい内容だったと思います。患者ファーストの意思決定であり、家族の希望は別として考えるという言葉にすごく、納得できました。ただ家族が患者を看るとなった時に、それぞれの価値観をすり合わせていくことが難しいとも思いました。</p>
<p>・なんとなく耳にしていたACPでしたが、今回の講習をうけて深まりました。普段からの対話会話を意識して未来を見据えて早期介入支援ができるようにしていきたいです。ありがとうございました。</p>
<p>・以前、助産師として産婦人科病棟で働いていました。悪性婦人科疾患の患者の治療やケアに携わる中で、助産師として無力感や葛藤等ありましたが、今日の研修を受けて、特別なケアでなくとももっと自分に出ることがあると思うことができました。</p>
<p>・面会禁止、IC参加は、家族一人までなど制約がありますが、面談時にDrからの病状説明の他に、ACPIについて話を持っていけるようにしたいと思いました。</p>
<p>・講師の話がとても面白い。</p>
<p>・川崎市中原区ひらまの里地域包括支援センターに勤務しています。最近、病院から在宅に戻るがん末の方の相談が増えています。年齢も若い方から高齢の方まで様々ですが、本人への支援が中心となっています。看護職として、ご家族の支援についても気になる場所なのですが、つなぐ場所がなく、そのままというのが現実です。今回、暮らしの保健室の存在を知り、ご紹介出来たらと思いました。また、暮らしの保健室側からも地域包括支援センターにアプローチしていただけると嬉しいです。社会的処方についても大変勉強になりました。ありがとうございました。</p>
<p>・社会的処方や暮らしの保健室など、とても興味深いお話で、勉強になりました。また、自身が勤める外来でも、早期から患者さんとの対話を積み重ねて、患者さんの価値観や思いを聞いていきたいと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>・社会的な死を遅らせるという支援とても参考になりました</p>
<p>・ACPの必要性及び課題の難しさも感じられた。</p>
<p>・本人との対話がいかに大切かを再認識させていただきました。本人のヒストリーやどうしたいかという思いを引き出しみんなできかに共有して関わっていけるかを考えていきたいと思えます。また、地域どのつながりや自分が仕事場以外でもできることを実践していくことも必要だと感じました</p>
<p>・人と人の結びつきが多様化する中で、その人らしい終末、最期を考える際にACPIはとても大切だと感じています。しかし、とても大きなテーマなので少しでも日頃の支援に役立てたいと参加しました。地域から支える取り組みは興味深かったです。ありがとうございました。</p>
<p>・施設でのターミナルケア推進のため、また今後の地域と施設の関わりを考える上で参考になりました。カンファレンスでの介護職の方の意見に、不眠だから薬出して欲しい、早く医師からターミナル診断をしてほしい、徘徊やめさせるために何か看護部から意見ないか(抑肝散や鎮静剤の処方試して欲しいと暗に言っている)などの発言がある度に、その都度言っていることが、今日の講義内容に集約されていました。施設全職員でACPIについて理解を深めて、普段から意識的に社会的処方を、社会的な死を遅らせるケアに繋げていきたいと思えますし、地域に施設のあり方を知ってもらう上での糸口になると思いました。</p>

<p>・社会的死を、出来るだけ伸ばすこと。また、今の業務で病気の子ども死を体験しました。子どもの場合、どのようなACPを行えばよかったか模索中です。質問のチャット時間が終わってしまい質問出来ませんでした。お時間があれば教えていただけると幸いです。</p>
<p>・先生の思いがとても伝わりました。暮らしの保健室は相談の場ではなく、居場所との思いを他の職員とも共有したいと思います。</p>
<p>・町にある取り組みがあれば参加してみたいです</p>
<p>・本日はありがとうございました。話中で、肉体的な死の前に社会的な死、精神的な死がある事を再度学べて、とても勉強になりました。肉体的な死を待つ間、肉体的な疼痛コントロールはできても、なかなか精神的な苦痛をとることが難しいと日頃思っています。患者さんの居場所、の関してとても興味がありました。精神的な苦痛を少しでもやわげるためにも、早期の対策が必要な事もとても勉強になりました。癌になってしまったから、鬱になってしまう利用者さんもいて、精神的な死が少しでも肉体的な死と近づけるように、これからも利用者さんと寄り添っていきたいと思います。</p>
<p>・それぞれの立場からのACPIについてのため、医師の立場からの関わりでしたが、看護師の立場からのACPの関わりを聴いて見たい。</p>
<p>・早期にACPを行う大切さを学びました。癌になっても自分らしく生きていけるよう援助していくコミュニティーがあって欲しい。</p>
<p>・緩和の未来の形から、自分がやりたいことや、ビジョンを形にする手立てになりそうです。とても、有意義な研修でした。ありがとうございました！</p>
<p>・ACP早期から終末期に関する話し合える場が必要だと思いました。</p>
<p>・ACPとは何か知る事が出来ました。ACPを理解までは難しいですが、人と人の難しく、奥が深いと思いました。貴重なお話ありがとうございました。</p>
<p>・患者の何気なく発せられたと思われるような言葉も、関わる看護師としてしっかりキャッチできるように更に意識をしたいと思いました。</p>
<p>・Nurse controlled on demand modelについて、効率化や緩和ケアデリバリーの視点でのエビデンスなども知りたかったです。</p>
<p>・貴重な講演ありがとうございました。患者と対話を行うことの重要性に改めて学習ができました。私は病院で退院調整部門の看護師をしております。人生会議などの場面に立ち会うことがあまりなく、今後の看護師人生に書いて業務に従事して参ります。</p>
<p>・義父母が高齢になっておりACPが必要と思いましたが話すきっかけをどのようにすればいいのかと思いましたが今回の研修でいろいろ引き出すきっかけを学べましたので良かったです。</p>
<p>・有意義な時間を過ごせました。人のつながりがいかに大切かと感じました</p>
<p>・ACPの研修には何件か参加していますが今回の研修が1番分かりやすくイメージが付き実践しやすと感じました。</p>
<p>・大変わかりやすくコミュニケーションを行う上で参考となりました。今後の仕事で役立てていきたい</p>
<p>・医師からの立場での研修で視野広がった</p>
<p>・ACPを意識した会話を心がけていきたいと思った。</p>
<p>・今日の内容は癌の終末期がメインでしたが、もう少しテーマに沿った内容が聞きたかったと思いました。</p>
<p>・本人や家族にどう思ってるかの想いをその時々での日常の会話の中でどう思っているかを聞く。他職種との情報共有の仕方。</p>
<p>・ACPの考え方から始まり対象の方との声のかけ方が具体的でわかりやすかったです。</p>
<p>・ACPIについて言葉は聞いた事あったが今回の研修で詳しく学びました。</p>
<p>・地域で取り組むacpが今までに無い発見でした</p>
<p>・療養病棟の看護師に必要な内容だったと思う。</p>
<p>・関わり方などが参考になりました</p>
<p>・ACTを身近な取り組みとしてとらえることができました。</p>
<p>・ACPIに対して構えていたところがありましたが、もう少し気楽に取り組んで良いのかなと思いました。</p>
<p>・病院勤務から、クリニック、訪問診療と初めての経験が多いため、今回の研修で専門的な医師からの話を聞いて、ACPの介入方法が理解出来ました。</p>
<p>・病院勤務時代、ACPはゴツゴツとしたイメージでしたが、昨年から在宅で働き始めた事もあり今回の話を聞いてACPがふんわりと温かいイメージに変わった気がします。</p>
<p>・関わり方などが参考になりました</p>
<p>・途中からの参加になってしまい残念でしたが、これまで聞いてきたACPの研修と切り口が違い、大変興味深いお話でした。</p>
<p>・ACPIについて専門の先生から勉強する機会が得られて大変勉強になりました。レジメがあつて分かりやすかったです。ありがとうございました。</p>
<p>・今回の研修はとても興味深くとても勉強になりました。acpと聞くと難しく考えていましたが会話ということ聞き、なるほどと思いました。その患者さんの思いを引き出す会話力が大切なることを学びました。</p>

・今回の研修は本当に満足のいく研修でした。最初の先生の居酒屋の女将さんのお話を聞いて、あんなふうの一つ一つ患者の思いを尊重して引き出せる関わり、本当に患者さんを第一に考えてくださってるその考え方がとても聞いていてすんなり心に入ってきてこんな先生がいるのだととても嬉しく思いました。入院中と外来での患者の様子の変化の話を書き、私も学生時代に訪問看護の実習で利用者さんから言われた言葉で大切にしていることがあります。’どの患者も入院するだけで頭が平常心を保ってられない。だから、退院すると家でなんで看護師にあんなこと言ってしまったのだろうと悪いこと言っちゃったなって反省をし振り返る事がある。だから入院してる患者さんはみんな心が不安定ってことを覚えてほしい。’と言われたことがあります。それを聞き実際に現場で関わりを通して患者さんは病気のこと、経済面のこと、今後の人生について、さまざまな不安を抱えながらさらに入院という環境の変化の中とても大事な選択をしなければならない状況など局面にぶつかることが多いと思いました。このことから、患者が住み慣れた環境に帰ることは療養をしていくためにも本当の自分にとっての生き方を考えるためにも意思決定するためにも必要なことだと思いました。ちょっとずれてしまいましたが、今回の研修は新たな学びとやっぱりそうだよねと頷きが止まらない事が多く自分の看護観の背中を押してくれる事がとても多かったです。当日の質問でもありましたがACPとして同じ認識で周りのスタッフも聞いた時に情報として残せていないどう残していくべきかと質問がありまさと思いました。今私にできる周りを巻き込み取り組める事は患者についてのもっと話し合う場を設ける事だと思えました。今回先生のお話を聞いて本当によかったです。また今日から患者さんの思いを大事にして取り組んで行きたいと思えます。貴重なご講義を本当にありがとうございました！そして先生のこれからの活動の推進を応援しています！本当にありがとうございました！

11 ご意見など

・資料の添付があれば、同僚とも共有できると思いました。残念。
・質問の内容をチャットにのせてほしかったです。
・web研修を今後も増やして欲しいです。
・オンデマンド配信があれば良かったと思います
・アンケート入力が入りやすくなり良かったです
・zoomで参加が可能でとても嬉しいです。
・資料も事前にダウンロードしたかったです。
・ありがとうございました。zoom参加者の映像の共有は必要でしょうか？また、オンデマンドだと休みをとらなくてよいので、参加しやすいです。
・席の周辺が暗く、より眠くなりやすい環境の様に感じました。もう少し、照明を落とす範囲が狭くても良かったかもしれません。
・平日昼間の開催だと、休みを取らないと参加できない。色々な参加方法があるといい。

12 今後開催してほしい研修テーマや要望

・今後多死社会に向け医療者以外に死を取り巻く職種の方(例えば葬儀者など)の現場のお話が聞けると興味深いです。
・看護師の起業について(訪問看護など)
・医療と介護の連携
・SDM
・グリーンケアの実践など
・マインドフルネスは、また、受講したいです
・今回のような新しい切り口での意思決定支援やサポートの内容のものが充実すると嬉しいです。
・ACP導入した病院があれば実際を知りたい。
・エンドオブライフ
・コミュニケーションの取り方など
・がん末期患者が在宅で過ごすために必要なこと
・訪問看護ステーションのBCPIについて。
・社会的処方について
・自施設としてもACPを進めていきたいと看護部は言ってますが、医師との連携なども必要でなかなか前に進みません。医師の中に協力的な人もいないためどのように進めたらいいのか、といった状況です。実際に取り入れている施設はどのように進めていったかなど話が聞きたいです。
・地域ごと連携について
・少子化問題
・癌と診断されてからの鬱症状、どのように病院と連携していけばいいか。
・自分のコミュニケーションの力を評価したら、力をつけていくためのポイント、またコミュニケーションの力を高めるための取り組みをしている施設等があったら知りたいです。
・多医療機関との連携です。病院と在宅チームの連携など
・クリニックや地域包括、病院などの連携強化や情報交換の場があるとよい。
・認知症患者との関わりについて
・DNARについて
・同じ内容でも実施してほしい。もっと多くのスタッフに受けてほしいから。